



ネイチャーなら

《わたしたちは大和の自然を愛します》

発行2016年2月1日

2月号・第169号

奈良・人と自然の会

会長 藤田 秀 憲



初出式の餅つき

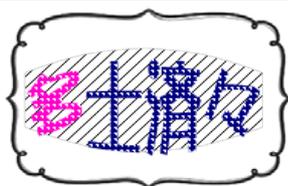
Contents

ホームページでは、カラーで見ることが出来ます



URL <http://www.naranature.com>

多士済々	1	青垣春秋	12
Monthly Repo.ならやま	2	俳句百景	13
里山の今	3・4・5	癒しの散歩道 & ならやま茶論	14
追憶(故樋口善雄様)・字遊字感	6	ギャラリーならやま	15
1月・歴史研修会報告	7	ならやまプロジェクト	16
初出式報告・佐保台小感想文	8	行事案内	17
プランターでマスクメロン	9	行事予告・仲間入りしました	18
「鳥」シリーズ(2月・探鳥会案内)	10	奈良学クイズ・旬菜旬食	18
やさしい病害虫講座-20	11	幹事会報告・編集後記	19



木村 裕 さん

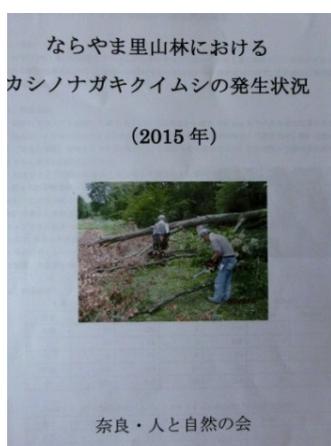
たゆまぬ努力の積み重ね!

顧問 阿部 和 生

「76, 755頭」この数字はどういった数字と想像されますか??

27年7月9日より11月5日まで、ペットボトルトラップに誘引捕獲された「カシノナガキクイムシ」成虫数を毎週カウントした合計数字なのです。

「ならやま里山林のコナラ」3樹に6基取り付けられた捕獲累計数です。僅か3本でこの数字!この森で一体どれほどの成虫が飛び出したのだろうか?驚きです、そして毎週誘引捕獲された数を調べるその根気作業・粘りにも驚嘆します。このほか粘着テープの巻きつけによる新成虫の羽化脱出調査も併行して進めておられます。



[……誘引捕獲数

は(前年の)約2.5倍と増加していた……]と“2015年カシノナガキクイムシの発生状況”(ホームページ・資料室)に記載されています。木村裕さんをキャップとして地道な調査を積み重ねられた貴重な集計です。

平成22年[ナラ枯れ]の伝播を予測し、防除・拡散防止のため森英雄さんを始めとして予備調査開始、里山林を30分割しコナラの毎木調査台帳作成(1940本)から始まり、今日に至るまで毎年の調査を取り纏めておられます。(上記写真)他に水生生物調査にも関わってこられました。

初期の粘着テープによるカシナガ飛来調査も、毎週の回収資料を1頭ずつ同定する気の遠くなるような作業をされ集計されています。現場を歩き回収し、資料の解析を進めた素晴らしい年次報告です。「奈良・人と自然の会」としての活動状況を対外的に広報・報告する際、こうした貴重な調査を踏まえた数字を報告すること・資料として提出することが、他の実践部門と同様に大変高い評価

を得たものでした。ご専門の果樹・菜園の防疫教官として海外でも指導にもあたられてきたとお聞きしています。海外での講義・実践指導も、先頭に立たれ根気よく指導されたであつたらうと推測できます。会報誌での連続講座「やさしい昆虫講座」は44話に及んで、多くの読者をひきつけてきました。

木村裕さんは、長年に亘る学殖の積み重ねの上に、今なお衰えることのない飽くなき探究心と情熱をたぎらせておられます。講座や諸調査にとどまらず、青少年への自然環境教育指導にも情熱を注がれます。永年の経験による指導員としての「ノウハウ」は、催事におけるプランナーとして発揮です。自然教室チームである時など子供たちを熱狂させています。校庭周辺で昆虫採集後、部屋に戻り「班別バッタ飛び競争」をした時です。教室が割れんばかりの歓声で、誰一人早く帰ろうとしない状態で、昆虫博士の面目躍如でした。



「ならやま」での観察会では、シール集めのワサビを利かし、飯盒炊さんでは、手順マニュアルを配布し、私達が事前に読んでおけば指導できるよう配慮されていました。いつもながら素晴らしい段取りです。

現在、副会長として会長を助け、会の運営進展に心配りされています。長年の蘊蓄を披露していただく機会を設けて頂きたいと思っています。

健康に留意されつつご活動下さいますようお願いしています。

Monthly Repo. ならやま

八木 順一

12月24日(木) 活動 晴れ 64名

今年最後の活動日になったが、好天に恵まれた。サイトは迎春準備一色。門松作りや正月の縁起物作り、また掃除と忙しい活動日になった。特に入り口の対になった門松は本当に立派に出来上がった。加えて隅々まできれいに掃除が行き届き、サイトも見違えた。これで正月も無事ならやまを訪れてくれることだろう。昼食を摂った後、午後は解散。新しい年、平成28年もすばらしい年になることを祈りつつ帰路につく。各Gとも迎春準備や今年の活動の後片付け等で大忙し。一年間本当にご苦労様。

1月7日(木) 活動 曇り 73名+4名

平成28年初出式。77名もの人数が狭いならやまサイトにひしめき合い、圧巻である。餅つきのおと初出式。今年の年男・女を代表しての顧問のお話の後、早速おいしく準備されたお餅や七草粥を頂く。特に七草粥の食材はすべて、このならやまサイトで収穫されたものだとか。ありがたいこ



とである。各Gとも春に向けての準備に余念がない。里山Gは来週の植樹の準備、エコGは冬野菜の収穫を中心に汗を流すが、山のような野菜の収穫量である。また景観Gは竹の伐採と後片付け、その他ビオ班は池の水抜きに、花班は草取りや寒肥施肥に取り組んだ。パト班もこの時期を利用しての自然観察会を実施したが、26名の参加者を見た。

打ち合わせでは、本日の初出式の段取りや来週の一斉山作業の連絡を行う。また当会の旧会員ご逝去に対して全員で黙祷を行った。

1月14日(木) 活動 晴れ 63名+1名

4回目の山一斉活動実施。事前の連絡どおりほぼ全員がクヌギの植樹を中心にした作業に入り、成果も上がった。やはり数は力である。残りの一斉作業もこういった体制が出来ればと思われる。午後は、各Gとも春に向けての作業に取り組む。里山Gは一斉作業のほか薪わりに、エコGは畑のチップ入れに汗を流す。その他、景観Gは前週までに処理した竹の葉のあとかた付けやビオ班の池の泥の撤去にと盛りだくさんの内容だ。また、花班のヤマウドの整理やパト班の第4コース巡回も忘れてはならない。春もそこまでやって来ている。急げ、急げといったところか。



打ち合わせでは、本日の一斉山作業の段取り等についての依頼のほか、本日入会予定の会員と見学に訪れた高校生の紹介を行う。

1月21日(木) 活動 曇り 57名

今日のサプライズは、終礼時のお汁粉。作業の後の甘いものの本当においしいこと。また・・・と期待するのは甘いだろうか。

打ち合わせでは本日の池の泥上げ作業の連絡や依頼を中心に。池の泥上げは沢山の参加者の協力で無事終了。その他里山Gはしいたけのほだぎの玉切りを主に、エコGは水田へのチップ入れ、景観Gも泥上げ作業や竹林の伐採、そして花班はアガパンサスの霜囲い作り励む。また、パト班は第1コース巡回に出る。



里山グループだより

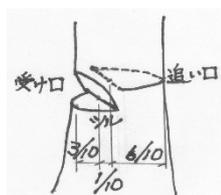
山本隆造

◆伐倒訓練

アッ！危ない！！木が思わぬ方向に倒れだす。慌てて退避。ヒヤリハットの体験。里山グループではチェーンソーの台数も増え、初心者も増えた。これらの人を対象に杉山リーダー指導のもと、彩の森の杉林で伐倒訓練が行われた。伐った木は薪小屋増設の材料として利用する。

伐倒対象木を前に5つのチェックポイントを実践。

- 1・上を見る。対象木の状態を見る。
- 2・下を見る。作業足元の状態を見る。
- 3・周りを見る。周囲の状況を見る。
- 4・倒す方向を見る。伐倒方向の状況確認。
- 5・逃げ道を見る。万一時の退避ルートの確認。



伐倒要領

対象の杉は径 20cm ほど。伐る位置を決め受け口、追い口、ツルを木にマーキングする。慣れるまでは伐る前にマーキングせよとのこと。

どれくらい伐ったら慣れますかー？ そうだなあー 一百本くらいかなあー。あと 99 本かあ・・・？ チェーンソーを始動。受け口下切り、斜め切り、追い口切りの順に、マークをチェックしながら切る。真っ直ぐ水平に切ることの難しさを痛感。



受け口の出来は・・・？

アッという間に切り過ぎてしまったりもする。結果ツルが径の 1 割ほど均等に残っていれば、これが蝶番の役目を果たし目的の方向に木は倒れる。追い口切りの方向がズレたり、切りすぎたりするとツルの片側がなくなり冒頭の事態を招いたりもするとのこと。ツルを適切に残すことが肝要か。

今回の伐倒訓練は、作業の安全と基本を改めて認識すると共に、色々な事例が経験できて大いに勉強になった。今後の活動に生かしたい。



エコファームだより

鈴木経子

穏やかな三が日が過ぎ、いよいよ 2016 年が始まりました。活動初日は新年初出式、餅搗きと七草粥の日です。

女性陣は、畑の周りで七草採りと餅搗きの準備で大忙し。そうこうする内に、餅米を蒸す白い湯気が立ちのぼり、良い臭いが漂ってきます。それを横目にしながら、冬野菜の収穫に駆け回る人々。

ペタンペタンと杵の音が響き、思わず駆け寄ってみると、搗き上がった餅が次々と大根おろしときな粉の入ったボールにポンポンと入れられていく。

御神酒で乾杯の後、搗き立ての三種の餅、「おろし餅・きな粉餅・焼き餅」を賞味、やはり杵搗き餅の味は格別。と同時に、純ならやま産七草入り粥が、冷えた身体を芯から温めてくれます。

午後は、ハウレンソウの除草作業、暖かかったせいか、ハウレンソウを覆い隠すほどの勢いで雑草が生い茂っていたので、丁寧に抜き取る。追肥を施し、もっと大きくなっておくれと声を掛け、1日の作業は終わりとなる。

今年は、冬野菜の植え付け面積も広く、順調に生育してくれています。



エコファームの先達の樋口善雄さんが、昨年末にご逝去されました。大和伝統野菜・吹田慈姑などの作付け、更には年間を通しての栽培管理について薫陶を受けました。ならやまで共に汗を流した日々を偲び、ご冥福をお祈りいたします。

景観グループだより

羽尻 嵩

タナゴ池の水生生物調査を 12 月 17 日にしました。ポンプで排水し、網で調べた結果は以下の通りです。

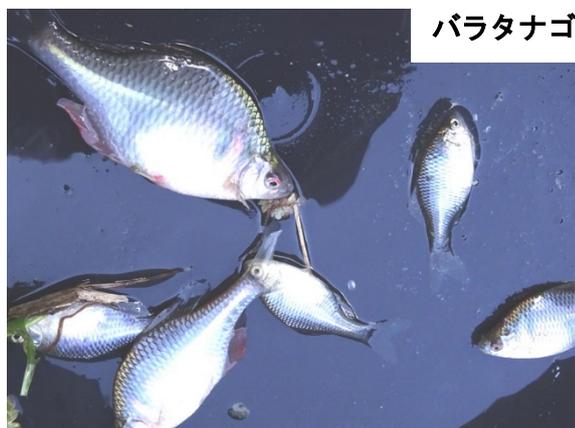
ニッポンバラタナゴ 58 匹、シマヒレヨシノボリ 92 匹、タガイ 1 個体、その他エビなどが多数。

ヨシノボリが 100 匹近くいたのは驚きでした。池に砂を入れたりした効果が出たのかなと思います。

ヨシノボリ



バラタナゴは 7 月中ごろからほとんど見かけなくなりましたが、体長 5 cm 大のものも入れて思ったより数がいって一安心でした。



バラタナゴ

ただ、昨年初めに 9 個体だった貝が 1 個体になってしまいました。原因は貝を入れておいたプランターの中に泥が蓄積したためと思われます。泥の除去が全くやれていませんでした。3 月ごろに近大班に新しい貝を追加投入してもらう予定です。

新年の初出式の日にはならやま池の水を抜きました。水が引いた後、早速アオサギがやってきていて、鳥のエサ場を探す感覚は計り知れないものだということを再認識させられました。



パトロール班だより

守口京子

★ならやま冬の観察会

パトロール班の予てからの念願だった会員の観察会がようやく実現の運びとなり、1 月 7 日初出の午後、20 数名が辻本リーダーの案内よろしく 2 コースの観察に出発しました。里山の今は落ち葉の降り積もった道で、タカノツメの甘いにおいがかすかに漂う中を、歩きながら、立ち止まりながら参加者は里山の雰囲気とお話を楽しみました。お正月らしい目出度いお金の実(ツルアリドオシ、ヤブコウジ、センリョウ、マンリョウ)、神仏にお供えの木(サカキ、ヒサカキ)、紅葉と黄葉のメカニズム、美しい樹皮(リョウブ)、かわいい冬芽(クロモジ)、希少種の草花、鳥観の丘からの大極殿の眺め、などなど、時を忘れて観察会を堪能しました。「どんな花が咲くの? 咲いたら見に来たいね」「ほかのコースも歩きたい」との声がありました。参加者の皆さんお疲れ様でした。



パトロール班発足以来 3 年余り、当初は頭につる草が垂れ下がり、藪こぎをし、坂ですべり、道に迷いながら歩いていましたが、今は観察路の整備が進み、階段、ロープ、道標、地図など歩きやすい工夫がされ、会員の皆さんのこれまでの努力を再認識し、感謝の気持ちが溢れてきました。

パトロールは毎週、班のメンバー交代で行っていて、掲示板に当番表が貼ってあります。観察を希望される方、特に今回行けなかった方、いつでもメンバーに声をかけて、パトロールに同行してください。

ならやま虫だより

菊川年明

◆ならやまの越冬昆虫

厳寒期に野外で昆虫（成虫）を見かけることはほとんどないが、意外にたくさんの昆虫がいろいろな場所で越冬している。

ならやまで私がカウントした越冬昆虫は60種近くに及ぶ。越冬している場所はいろいろで、チョウは草木の葉裏、樹木の洞（うろ）、落葉の上など。ガは木の幹、樹皮の下など。甲虫は朽ち木の中、石の下や土中、枯れ草の根元など。カメムシは樹皮の下、建物の中など。そのほか若干ながらハチ、アブ、トンボ、バッタ類も越冬種がある。

越冬昆虫には、生活に適さない時期だけ活動を休止するものと、全く生理的に休眠状態になるものがある。寒いときだけ活動を休止している昆虫は、暖かい日に出てきて、日向ぼっこをしている姿が私たちの目に止まることがある。

暖かい日によく目につくのはキタテハ、ルリタテハ、ムラサキシジミなどのチョウやナナホシテントウ、イタドリハムシなどの甲虫である。オツネトンボ（イトトンボの仲間）が真冬の林内を飛んでいるのを見かけることもある。

もう一つの越冬のパターンとして、枯れた竹や木の材の中で育った幼虫が蛹化し、秋に羽化した後もそのまま材の中で春まで過ごしているものがある。甲虫のウバタマコメツキ、ベニカミキリなどがそれである。越冬しているウバタマコメツキ（註）の場合、数年間生きるなので2～3年目の個体と、新成虫が混じっている。写真はマツの朽ち木の中のウバタマコメツキであるが、蛹室のようなところにいるので新成虫だと思われる。

註：体長約30mm、超大型褐色のコメツキムシ



ならやま花だより

吉村 さつき

1月14日、ふかふかの落ち葉の道は心地よいものです。落ち葉の陰

では待ちきれないのかシハイスミレが咲いています。山の道端ではツルリンドウの実を見つけました。艶やかで赤い実は美しく、思わず見とれてしまいます。花数の少ないこの時期赤い実は彩りを添えてくれます。

お馴染みのナンテンも「燭＝ともし火」の様な赤い実をつけ、難を転じると縁起が良く厄除けに効くと言われていています。江戸時代より火災除けとして玄関前に植えられたそうです。

毒性も有りますが、食品の防腐や鎮咳作用も有り、お料理の飾りや、のど飴としてなじみがあります。葉は互生、三回羽状複葉で初夏に白い花が咲きます。花言葉は「私の愛は増すばかり」「良い家庭」だそうです。



ナンテンの実

[草 花]ヒメオドリコソウ、ハコベ、オランダミミナグサ、シハイスミレ、セイヨウタンポポ、オオイヌノフグリ、ホトケノザ、ナズナ、オニノゲシ、ヒメジョオン

[草の実]ツルリンドウ

[木の蕾]ヒイラギナンテン、アセビ、ヒサカキ、ミツマタ、ジンチョウゲ、ウメ

[木の花]ツバキ、ソシンロウバイ

[木の実]ヤブコウジ、ツルアリドオシ、ヤツデ、フユイチゴ、ソヨゴ、クチナシ、マンリョウ（赤・白）、センリョウ、センダン、サルトリイバラ

[花 壇]キンギョソウ、カンザキハナナ、スイセン、ハボタン

得難い器用人

樋口 善雄さんを悼む

顧問 川井 秀夫

昨年12月26日。ご子息よりご逝去の知らせがありました。ご療養中とはお聞きしておりましたが、突然の事で私にとっては会創設直後からの盟友であり、衝撃と慚愧の思いが拭えません。今はただご苦勞さん安らかに眠り下さいと祈るばかりです。

シニア7期を修了され、私の俳句会に所属されておられましたが、この会に魅せられ入会して頂きました。俳句は初心の域でしたがH12年の春、山科疎水の花見句会で最高点句を獲得され、はにかむ様に喜んでおられた表情が印象に残ります。

当会の活動原点とも言える「いこま棚田クラブ」では、放置された荒蕪の地の整備に汗を流し、棚田の原風景の創出に寄与して頂きました。また、柳生の国有林整備には、灌木・下草の林床整備に取り組んで頂き、ショウジョウバカマ・カタクリの蘇生を夢みておられました。

転じて、ならやま里地ではエコファームの一員として、大和伝統野菜の栽培に注力され「樋口畑」言われるエリアで、黙々と丹念な作業を讀けてこられ、正に玄人はだしの耕人として存在感を見せて呉れました。一方、自然工作チーム（現自然教室チーム）の初代リーダーとして持ち前の器用さと創造力を発揮され、イベントの中心活動をしリードしていただいた事も、貴台の大きな功績として長く記憶に残ることでしょう。

思い出せばキリが有りません。お通夜のナレーターの子息さんの語りとして、「親父に怒られたことがない」との下りがあり、温厚寛大なお人柄が偲ばれます。仲間内では少し訛り（佐賀県ご出身）のある訥々とした語りで、ウィットに富んだ話術もお上手でした。

樋口さん長い間ご苦勞さん。色々ありがとう御座いました。先年亡くされた奥様と冥途の旅を楽しんで下さい。さようなら 合掌。

弔句

寒空や旅立つひとの遠き星

秀夫



哲学を楽しむ

「哲学」という言葉は、元は古代ギリシア語の「sophia」（知恵）と「philos」（愛する）から造られた言葉「philosophia」で、「知恵を愛する＝愛知」の意味を持った言葉でしたが、明治初めに西周（にしあまね）が日常使わない「哲学」というこの言葉に訳したため、理屈嫌いの日本人を哲学嫌いにしてしまったとも言えます。

「知恵を愛する」とはどういうことかということ、日常生活の中で起こる出来事に対して疑問や興味を持ち「なんでかな」と考えることをさせています。したがって、「哲学すること」は特別な人がやる難しい学問ではなく、誰でもが日常の生活の中でやっていることなのです。

もちろん、とことん哲学した人もおられ、とことん哲学した人を「哲学者」とか「思想家」といいます。ここではその中の2人を紹介します。

古代ギリシアにプラトンという人がいました。彼はソクラテスの弟子ですが、ソクラテスが処刑された後、その思想を受け継ぎ発展させました。

プラトンはいう。ほとんどの人は見たり触れたりしたものを実在すると信じているが、それは本物（アイデア）の影・映像にすぎず、本物の世界は私達には見えない背後にあり、感覚ではなく、理性によってのみとらえられるのだといます。

だから、私たちは理性を働かせて本物の真理を追い求めるよう努力していかなければ、永遠に迷いの世界から逃れられないと説いています。（これをアイデア論という）

古代インドに生きたシッダルタと呼ばれた方は、座禅を組み、瞑想する中で、「空」（＝「縁起」と「慈悲」の真理にたどり着かれました。

「空」とは、全てのものは繋がりながら変化していくもので、他があつて自分があり、自分も他の人に影響を与えて互いに生かされているという真理です。「慈悲」とは、「自分」は生きているものの全ての繋がりの中で生きているのだから、全てのものに慈しみの心を持ちなさいという真理です。

最近、哲学者達の思想をイラスト入りでわかり易く紹介した本が幾つか出ていますので、それを読まれることをお勧めいたします。（羽尻 嵩）

1月・歴史研修会

大神神社初詣と三輪山登拝

1月12日(火) JR三輪駅に26名が集まった。天気は曇りなるも、時々日差しがあり暖かい歴史の日となった。昨年の11回の研修会で8回が晴れた。ならやまの活動日も好天を期待したい。

「二の鳥居」前で川井代表の挨拶の後、掃き清められた参道を厳かな気分で上る。

「大神神社」の祭神は大物主神で出雲の大国主神の亦の名前。国作りが成ったあと自ら求めて三諸山に祀られた。

ここでの予定は、拝殿に昇って奥に建つ独特の「三つの鳥居」(三輪鳥居)を通してお山・神体山を拝むはずであったが、この日は御祓いを受ける参拝者が多く、叶わなかったのが残念であった。

「祈祷殿」広場に移動して古川さんの解説を聞く。

三輪山は太古から自然崇拜の「神奈備信仰」や「磐座信仰」があり、大国主神の国作りが成ってから大物主神という人格神が奉祭された。川井さんからは製鉄の話、井戸さんから三輪山の地質「班礪岩」は噴火ではなく造山活動でマグマが盛り上がり固まったとの説明を受ける。

「磐座神社」は辺津磐座で少彦名神を祀る。つる性の「ガガイモ」の鞘に乗る小さな神様で大国主と共に国土を造ったとされる。

「狭井神社」は大物主神の荒魂を祀る神社で、25名が登拝を申込んだ後、襷を掛けて山に入る。30分ほど登って「三光の滝」の小屋に至る。ここでお二人がリタイア。残る23名は阻道の急坂を登り、やがて中津磐座につく。

平成9年の台風で樹齢数百年の杉や檜の大木が何本も倒れ、切り株だけを残す明るい山となってしまった。かつては鬱蒼と茂る巨樹の森、厳な雰囲気であったことが見てとれる。

さらに急坂を登ると、「鳥山椒」の巨木が群生している。467mの三等三角点付近で、下りて来た遅刻参加の坂東さんに遭遇する。日向御子神を祀る「高宮神社」を過ぎ黒々とした巨石が集まる奥津磐座に着いた。

磐座の巨石群は天から神が降臨してくる古代祭祀の遺跡である。この山の山体を構成する「角閃班礪岩」は、鉄を含む浸食に強い性質のため太古からその美しい山容を維持してきたと考えられる。



登りは1時間15分を要したが、下りは50分で狭井神社に下山した。展望台

からは南大和の平野の拡がりが一望で、二上山や大和三山が遠望できる。古代もかくの如き風景であったかと感慨にふける。

知恵の神「久延彦神社」を認知症に効くことを期待して参ったあと、崇神天皇から召されて、大神神社の初代神主を務めた大田田根子命(大物主神の祖孫)を祀る「大直禰子神社」を参拝する。

二の鳥居前の食堂「福神堂」にて三輪そうめんを肴に、三諸の神酒をいただく。崇神天皇の時代、疫病が大流行して混乱を極めた時、天皇は高橋邑に住む「高橋活日」を杜氏として酒を造らせ、三諸山に鎮坐する大物主神に供して国家安泰を祈願した。かくて疫病は治まり国が富みはじめた。三諸の酒が国を救ったことにより、三諸の大物主を酒造りの神として崇め、高橋活日は杜氏の神として撰社の「活日神社」に祀られている。

「日本書紀」崇神天皇8年の条に活日は神酒を造って天皇に奉って、次の歌を詠んだとある。

「此の神酒は 我が神酒ならず 倭成す 大物主の醸みし神酒 幾久幾久」(このお酒は私が造ったのではなく、倭を造られた大物主神がお造りになったお酒です)

高橋邑は天理の石上神社の北側を流れる布留川の高橋と言われている。

ついでながら「三輪そうめん」の始まりは6世紀末ごろ仏教伝来と共に小麦の栽培と製粉技術が伝えられたときとされる。

この日飲んだ酒はもちろん「三諸の神酒」三諸杉。当日は古川さんの81歳の誕生日であったことから、大いに盛り上がったのは言うまでもない。

(中井弘)

新春初出式 報告

今年の新春初出式は、1月7日(木)、五節句の一つ人日(じんじつ)、七草粥の日となりました。

この日を待ちかねたかのように、定刻1時間以上前から顔を出される方も多数おられ、総勢70名以上の方の参加を得ました。

あちらこちらで新春を寿ぐ賀詞の声が聞こえ、ならやまは新年を迎えた高揚感に包まれました。

藤田会長より今年は当会設立15周年を迎え



種々行事が企画されている事が伝えられ、今年も明るく、元気にこの1年を送りましょうとの力強い挨拶がなされました。

その後、各グループの仕事始めの活動と並行し恒例の餅つき行事が執り行われました。

今年、年男・年女を迎える会員の方々を中心に黒米を添えた2色餅を搗いて頂き、搗き上がった4臼のお餅は、きな粉餅、おろし餅、焼き餅でいただきました。



待ちかねた会員は長い列を作り、何回も並ぶ人、遂には一人で10個近くを食したツワモノまで出現、大好評でした。

勿論、ならやまで採れた春の七草を使っての七草粥も振る舞われ、可愛い竹のお猪口で頂く、お神酒も振る舞われました。

それでも、昼からはそれぞれのグループに別れ今年の仕事始め、定刻の3時まで全員元気に活動に勤しみ、元気が何よりを体感する会員の皆様の満足そうな笑顔が溢れました。

会員の皆様、今年も宜しくお願い致します！！

(事務局：辻本信一)

佐保台小ファーム 元気っ子たちの声！！

里山の水田復活と同じくして始まった、佐保台小5年生の水稲栽培体験学習は、7年目を迎えた。6月4日の田植えに始まり、10月22日の稲刈り、11月5日の脱穀・粃摺りまでの5ヶ月間、子どもたちにとっては、初体験の連続であった。その間の子どもの表情から、栽培に関わる多くの人達への感謝の気持ちが伝わってきた。

子ども達からの感想文を集約すると、

- ◆稲束をコンバインに入れる時、揃えて入れないと上手くいかない。難しかった。
- ◆自然の香りが漂う中で、良い体験ができて嬉しかった。
- ◆家族みんなで紫黒米ご飯を美味しくいただきました。
- ◆お米を作るのにはこんなに苦労することを実際にやってみて解りました。
- ◆体験学習を通して、奈良・人と自然の会の皆さんたちは、笑顔を欠かさない皆さんたちだと思いました。
- ◆稲刈りの時の音が心地よく感じました。また、稲掛けの作業が楽しかったです。
- ◆紫黒米のご飯は、プチプチしていて、とても美味しかったです。
- ◆お母さんに稲刈りのことを話したら、「いい体験ができたね。」と言ってくれました。
- ◆田植えの時、ものすごく上手に教えてくださったので、均等に植えることができました。
- ◆貰ったお米を見た時、自分たちも頑張ったお米が、こんなに大きくなったのに感動しました。
- ◆一番楽しかったのは、稲刈りでした。「ザクッ」という感じが気持ち良かったからです。
- ◆一番難しかったのは、田植えでした。田んぼの中を歩くのに泥が靴に絡みつくからです。
- ◆体験をさせていただきありがとうございました。こんなに難しいのに、やりやすいようにコツを教えていただき感謝しています。

※座学だけでは学ぶことのできない多くのことを体得してくれたようだ。(鈴木末一)

ベランダのプランターで マスクメロンを

10年ほど前から、ベランダのプランターで、マスクメロンを栽培しております。大きくて形がよく美味しいものを育てるのは、とても、とても、難しいです。

是非、種から栽培して見ては如何でしょうか。とっても面白く、楽しいです。



- 1) 美味しいマスクメロンを貰った時、また、買った時には、食べた後、大きい種だけを選んで、水でよく洗い、冷蔵庫で保存してください。
- 2) 翌年5月中旬ごろ、50cm ぐらいのプランターに、3箇所(1箇所に3粒ほど)に種を蒔いてください。(註) 大きい種だけを選んで、蒔いてください。10日ほどで発芽します。
- 3) 3週間ほどで丈が10cm 以上に成長します。各箇所で一番発育のよい株を残し、後の2本は間引いてください。
- 4) つる芽の切除：本葉6枚目から上の3枝芽を残してください。雌花のついているものを残します。1株に化成肥料を毎回約20粒ほど。この頃から、日がよく当たる場所に置き、水をやってください。プランターですから毎日水遣りが必要です。
- 5) 各本葉が6枚になったころ、それまでのツルと本葉の付け根にでる枝芽、花芽を切除する。
*6枚目以上に出る雌花が、大きいメロンに育ちます。実肥えの窒素系肥料を再追肥。

- 6) 雌花が開花すれば、朝9時ごろまでに受粉してください。「元気のいい花粉が大切」
- 7) 受粉してから1週間もすれば、直径2cm ぐらいになります。そのとき、一番大きくて形のよいものだけを残し、あとは切除する。1株1個にして育てます。
- 8) 7月中旬ごろ、直径7~8cm に育ちます。それまでは、少し産毛が生えており、外皮はプリンスメロンのようなようです。そのうち、毎日成長するためか、外皮にひび割れが発生します。その外皮を修復しながら大きくなるために、マスクメロン特有の外皮「網目」になります。
- 9) 8月末ごろ、メロンの外皮が、緑色から白っぽくなります。メロンの下部が柔らかくなったところが収穫です。祝杯を上げましょう。常温で10日以上置き、冷蔵庫で冷やしてから。きっと美味しいでしょう。

(注) 大きなメロンを育てるには、1株で大きな葉っぱが、最低30~40枚以上必要です。万一、うどん粉病に罹った場合は、株ごと直ぐに、撤去してください。OUT。そのとき、5cm ほどの大きさになっていたら、浅漬けにして食べてください。これもまた、美味しいです。



ちなみに、昨年、大きなマスクメロンが3個も、ベランダのプランター

で育ちました。

その1個を孫にわざわざ持って行き、自慢げに食べさせましたが、「美味しくない」の一言。ショックでした！今年は、より大きくより形の美しい、より美味しいマスクメロンをプランターで育てようと、更なる研究をします。

「種も、畑も、良いものを。難しいから面白い。」

(福田美伸)

鳥シリーズ 2月号
アオバト 小田久美子

海水を飲むアオバト

1/17(日)のNHK「ダーウィンが来た!～生きもの新伝説～」大磯の海岸の岩場で波の引く間に海水を飲むアオバトたちのダイナミックな映像をご覧になりましたか。

他の鳥は水を飲む時は上を向いて流し込みますが、アオバトは嘴がストローのような仕組みなのだからと美味しそうに飲んでいきます。

♂は羽根が赤紫の濃い色をしています、♀共に概ね緑がかかった黄色の美しい鳥です。

昔、橿原神宮探鳥会で畝傍山への山道で木に止まっている群れを見た少年が、「きれい アオリンゴみたい!!」と喜んだのを懐かしく思い出します。

6・7月は彼らの繁殖、子育ての季節にあたります。山林の若葉に紛れると巣も鳥たちも保護色になり、その環境の中で木の実や新芽を食べ、夫婦交代で子育てをし、9月には暖かい地方に移動しますが、奈良では概ね留鳥です。

以前ハトの時お話ししましたが、ハトはピジョンミルクという、チーズのような高カロリーの餌を雛に与え短期間で巣立たせます。そのピジョンミルクにも海水が必要なようです。奈良の山奥でも見ますが、どちらの海へ飛ぶのでしょうか。

山地のものは、塩分のある温泉水や醤油・味噌麴の塩分を含んだ排水を飲むものもいるといいますが、奈良のアオバトは温泉派でしょうか。

沖縄でズアカアオバトをみたことがありますが、この鳥は塩水を飲むことはないといえます。

他の鳥も海水をのむことはありませんが、植物から塩分を取ります。

荒波にもまれたり天敵ハヤブサに襲われたりしながらも、何故アオバトだけが山地から離れた遠

い海辺まで行くのかはまだ判っていません。

名前の由来は鳴き声が「アーオー アーオー」と鳴くからだとか、青色(昔から緑をあおという)だからだとか定まっています。

山道を歩いていてこの奇妙な鳴き声が聞こえたら、知らない人はとても怖いでしょう。

日本のアオバトに学名が付けられたのは、1835(天保 6)年、オランダのライデン自然史博物館のテミング館長がシーボルトから送られた標本を見て名付けました。

学名にはシーボルトの名、命名者にはテミングの名が残っています。



【アオバト 撮影者 山縣】

天理白川ダム探鳥会 案内

日にち：2月23日(火)

時間：9時20分

集合場所：近鉄奈良、行基菩薩前

コース：天理、森本バス停—白川ダム—和邇下神社バス停

15時半終了予定

持ち物：弁当・飲み物・寒さ対策・あれば双眼鏡

期待の鳥：カモたち、オオバン・

カンムリカイツブリ他冬鳥

昨年同様、皆さんの写真を募りますので奮って応募して下さい!!

やさしい病害虫講座 20**「冬季の病害虫防除の効果のほどは？」**

木村 裕

冬場は庭木の防除によい時期ですと、植木屋さんから勧誘を受けたことはありませんか？ 病害虫が眠っている冬の時期に防除をしておけば、春からの病害虫の発生が防げますとか言っていないでしたか？

冬場の病害虫防除は、春からの病害虫の発生予防にたしかに効果はあります。庭木の場合、しないよりした方がよいかと思いますが、費用と効果を比較検討するとはたして必要でしょうか。お金の使い道に困っている方はぜひ実行してください。お勧めします。

まず何の害虫、何の病気の発生を予防したいのかを考えてください。薬剤を散布すれば全ての病気や害虫が予防できるようなイメージを受けますが、そんなうまい話はありません。やさしい昆虫講座で取り上げたように、昆虫はそれぞれ知恵を絞って冬越ししていますので、簡単には防除はできません。病気や害虫、それぞれに適した時期や方法があり、やみくもに薬をまいても効果はありません。

具体的に事例を挙げると、冬場の防除薬剤は石灰硫黄合剤か機械油乳剤のどちらかです。



モモの縮葉病

石灰硫黄合剤はモモ、ナシ、ブドウなど果樹の病気の予防として散布します。それゆえ果樹栽培農家の人たちが春先に葉に発生する病気の予防のために散布します。では家庭の植木で春先に発生する病気はありますか？ ほとんどないと思います。この薬剤は散布後も硫黄の匂いが残るので、

植木屋さんとしては散布したよい証拠にはなりませんが、まず必要はないでしょう。

機械油乳剤は冬季防除によく用いられ、ハダニ（通称アカダニ）に効果が高いです。ハダニはいろいろな果樹で夏季に大発生して葉から貴重な栄養分を横取りするので、農家にとっては防除の難しい、につつき害虫です。それゆえ果樹農家にとっては冬季の防除は必須作業です。

この薬剤は名前の通り成分は油ですが、テンブラ油や機械に使う油ではありません。植物専用の油で、虫の体や卵を包みこんでしまうことで防除につながります。

カイガラムシにも効果があると言われていますが、小さな幼虫では効果が期待できますが、十分に成長した虫に対しては効果が劣ります。とくに皆さんの庭で発生している白色やチョコレート色のロウの塊のような虫にはまったく効果はありません。手で取ってください。



ロウムシ類

一般家庭の庭で機械油乳剤を散布して効果が上がるのは、ハダニがよく発生するマツ、スギ、イブキ、マメツゲでその他の樹種では何も期待できません。しかし、サルスベリのカイガラムシに対しては表面の荒皮を削りおとしてから散布すると効果が高いです。



サルスベリフクロカイガラムシ



北浦定政の辞世の意味

歴史文化クラブ
岩本次郎

北浦定政は明治4年(1871)正月7日に、数え年55歳で中風のため亡くなっている。

こしかたのくひのあまりに ゆく末の

はてなき夢をみるがくるしさ

これが辞世であり、奈良市古市町の墓地の一面に墓があり、墓碑の左側面に蓮月尼の筆跡の模刻がある。歌意は「過去の悔いのあまりに、これから先の果てしない夢をみるのが苦しい」というものであろう。辞世の句とか歌とかは、死を間近にして詠まれるのが普通であるが、これは違っている。過去と未来の中間に在っての感慨を吐露している。その謎を探ってみよう。

定政は文久元年(1861)6月24日、春日社の社家富田光美の家で、伴林光平と初めて出会い、歌を交わしている。この時、定政45歳、光平49歳。

うれしさに袖さへぬれぬうま人と

共にみかさの山の夕立 定政

うれしさも袖につつまんくみかはす御笠の

森のゆふ立の雨 光平

この日、定政は上記以外に、和歌6首を詠んでおり、また翌年3月から9月にかけて、定政が光平に詠草2冊(97紙)の添削を受け、ほかに親書5通も届いている。定政は、古市村に所在する伊勢・津藩城和奉行所の掛屋(上納米を管理し、好機に換金し、出納する業)に生まれ、父の死後、掛屋を継ぐ傍ら、同奉行所手代としても勤務していた。しかも、すでに蓮月尼や本居内遠(宣長の嗣孫)らと交わって、尊王の思想を培い、そこから御陵の考証(『打墨繩』)、平城京城の画定(『平城宮大内裏跡坪割之図』)などの成果をあげていた。

光平は河内国志貴郡林村の一向宗尊光寺に生まれ、大和薬師寺において、同寺の古書を渉獵し、西本願寺の教授に任じられるも、しばらくしてこれを辞し、国学者伴信友らより皇陵調査の委嘱をうけるや、河内国に帰り、仏事とは絶縁して、調査に傾注し、『河内国陵墓図』を著わしている。国学・歌道においても名が高く、定政と知己となった頃は、大

和国法隆寺村東福寺の駒塚に居住し、斑鳩中宮寺の寺吏の傍ら、門人を集め、和歌を教授していた。定政と光平はお互いの人柄に惹かれ、かつ定政は光平に兄事していった様子が窺われる。

ところで、この出会いから約2年後の文久3年(1863)8月13日、攘夷成功祈願のための孝明天皇による大和行幸決定を機に、吉村寅太郎(土佐)ら討幕過激の一派が、元侍従中山忠光を擁して大和挙兵を計画した。一行は翌日に京都を出発、大坂・河内を経て、17日に総勢70~80名が大和五条代官所を襲撃して代官ら5人を殺害、翌日、近隣の幕領地を朝廷領とし、当年分の年貢半減を布告した。しかしこの日、京都では、薩摩・会津両藩ら公武合体派の策動により、大和行幸は中止となり、攘夷討幕派の公卿と長州勢は京から追放されたのである。この政変で、天誅組は天皇行幸の先鋒としての大義は失い、かえって幕命を受けた紀州・郡山・津・彦根などの諸藩の兵と敵対し、吉野山中に転戦することとなり、苦戦の末、9月末には壊滅、組織は解散した。

伴林光平は8月16日に天誅組の挙兵を大坂で知り、17日に大和五条へと駆けつけ、参謀格として活躍する。しかし、その解散をみて、京都への潜行を試みたが、生駒山中の田原村で、奈良奉行所の捕吏に捕えられ、翌年2月16日、京都六角の獄において斬刑に処せられたのである。

定政の辞世にいう「こしかたのくひ」とは、この天誅組の変で光平を失ったこと、さらにその討伐に津藩も参戦したことである。なお例えば『北浦定政関係資料』(奈良文化財研究所資料42)には、その軍用金の調達に定政が関わっていたことが知られる。これは藩命により関わらざるを得なかったことであろう。辞世は、これらの事実への苦衷を秘めたものであり、早くから用意していたといえよう。

(註)

北浦定政については、拙稿「光仁天皇陵に参拝して思う二、三のこと」：本誌129(2012.10)p8でも触れているので、参照されたい。

オリオンの真上にありて旅最中

西谷 範子

南国九州での旅の一角。オリオン座の三ツ星の輝きに魅了された作者。冬の南天に象徴的な星座。旅の夜空に旅愁が表出された佳句。

大とんど空をつき抜け神還る

西谷 範子

いこま棚田クラブの恒例行事。五穀豊穣を祈り歳徳神を送る伝統行事。例年になく炎は竜巻のようだったとか。今年も豊穣間違い無し。

筆急くや絵三昧にも年の暮

八木 順一

年暮れは何かとせわしい。趣味の絵筆もせかせかと思うようには・・・こんな時に意外と名作ができるんじゃないですか。順一さん。

人の世の悲喜交々や賀状読む

八木 順一

人の世は無常なり、川の流れのように。賀状の一筆には境涯が滲み出る。我は我、人は人。思いを秘めて今年も息災でありたいもの。

年賀状出す宛ての亡き二つ三つ

坂東 久平

この齢になると実感することが多い。うっかり書いて破棄することも。年々歳々ひと同じからず。これも世の定めでしょうか。

早咲きの梅の一枝やオーオー

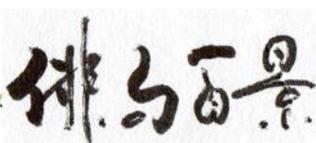
坂東 久平

奥様との初詣。神の庭に季節外れの梅の花。今年は開花が早い様。オーオーのオノマトペの語彙が驚きを象徴する。久平さんの驚きの表情。

明けの春闘志抱きて里に立つ

鈴木 末一

今年に賭ける作者の心情が溢れる。会の重鎮として辣腕を期待したい。力だけでは空まわりの恐れも、餅つきの呼吸ですかな・・・



監修 川井秀夫

なにごとともなかつたやうに年が明け

青木 幸子

作者は昨年足の怪我、年末には不幸があり、良い年ではなかつた様。刻は何事もなく通り過ぎて行く。さあ新年、心新たに良い事あるように

喪中とはすることもなし寝正月

青木 幸子

喪は慎み静かに供養の時、現世のひとは強く生きる事が故人への供養。「寝正月」良いですナ。十分充電の時間にして下さい。

田の神と言はれたひとの刈田かな

古川 祐司

樋口さんが逝かれました。田畑に親しみお元気な姿が懐かしい。刈田跡のようにゆつくりお休み下さい。再句として成功。

けふひと地球ぐるりと初日かな

古川 祐司

スケールの大きな一句。遍く日のひかり、世界を照らす。太陽の包容力、紛争も対立も飢餓も戦争も、人間は小さい。

堆し積み肥え煙る冬ぬくし

小山喜与男

今年の冬は高温の日が続く。里山の堆肥の山に湯気が立つ。冬耕のひとならでは、今日は土壌作りで堆肥の鋤き込み。

元朝や新聞そでにチラシ緑り

小山喜与男

日常の姿を切り取る。何故チラシが先に眼がいくんですか。本紙よりも大発見が有るんですヨ。それは内緒。

竹杯に乾坤誓う事初め

川井 秀夫

里山の初出。作者は年男。今年に里の十五周年。ただの年ではないよ。少なくなつたガソリンを焚いて老骨に鞭打つか。



自然とあなた

谷川萬太郎

もしあなたがあなたであることを忘れたなら
 あなたはあなたではなく季節の脱殻でしかない
 もしあなたが春のような優しい笑顔を忘れたなら
 あなたはあなたではなく寂しさに萎れた花みたい
 もしあなたが夏の光に真っ青な眩しさを忘れたなら
 あなたはあなたではなく心は曇りガラスみたい
 もしあなたが暮れる秋の夕映えに心を奪われたなら
 あなたはあなたではなく枯葉散る寂しさ募るだけ
 もしあなたが凍る冬の寒さに耐える事を忘れたなら
 あなたはあなたではなく冷さに身体が怯えるだけ

昔のあなたは純粹で素直な自然に
 心を開いていた
 汚れなき自然の心壊すのは
 季節の悪戯かいや我が心
 人は常に自然に寄添いて
 人世明日の生き方学ぶのだ



「青春の里山」



竹本 雅昭

申ナレーション：こんなに大勢の参加がある
 とは・・・ビックリポンです。
 早速“バチバチ”“ポーン”と威勢の
 良い焚火を囲み、「お目出度う・・・」
 と舌をもつれさせての挨拶。一仕事済ませ
 年男年女も一緒に、よいしょ!! “ペッタン”
 よいしょ!! “ペッタン”。
 白：さあさあ紅白の柔らかいのを食べて今年も
 体力を長持ちさせてくださ～い。
 杵：善男善女の力には心のフィルムが巻き戻さ
 れるのが伝わってきました。「親父と一緒に
 搦いた事も」「餡ころ一杯で動けなかつ
 たな」「揺りカゴにいて手伝えなかつたな」
 等々。今日の一コマも映像に残して。
 大鍋：七草粥も召し上がれ、年中刈払い機での
 散髪ご苦労様です。お礼にと七草が代表で
 “とろ～り”と炊きあがりました。

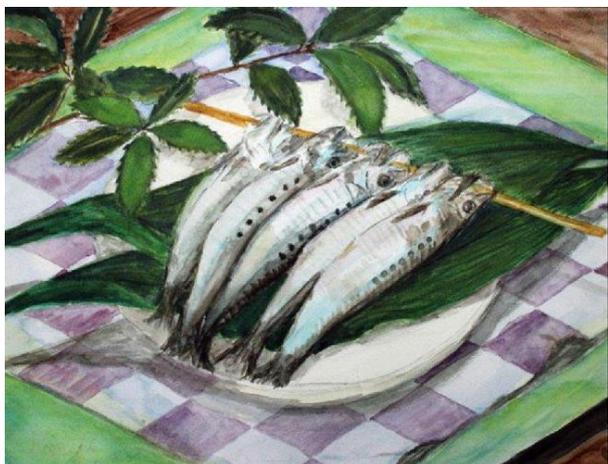
光源氏も食べたとあり、皆さんも
 モテモテで困ることのないように
 ご注意あれ。

人々：うまかった・・・。
 善良なカラス：元気余って悪さもします
 けど、15周年記念をお迎えとの
 ことですので、一曲歌わせてもら
 います“カ～”。

鳥よ来い来いと柿は呼ぶ
 菜の花春呼び淡黄で踊る
 梅は一杯ピンクの蕾
 アラヨーイシヨ、ヨイシヨ、ヨイシヨ、
 ヨ～イシヨ。

申ナレーション：里山は呼ぶ。掘っても
 掘っても楽しい宝は尽きません。

～ 終 ～



▲永井幸次・水彩画「節分」



▲八木順一・水彩画「大阪天満宮風景」



▲羽尻 嵩・墨彩画「春のささやき」



▲鈴木末一・「三番叟・申」竹人形



▲小島武雄・陶芸「しのび足」
白土・織部釉



▲田中克彦・「干支・申」
自然木クラフト

ならやまプロジェクト

明るく・楽しく・無理せず・諦めず
活動予定日

2月	4 (木) 25 (木)	11 (木)	18 (木)
3月	3 (木) 24 (木)	10 (木) 31 (木)	17 (木)

◆ 場所：奈良市佐紀町、奈良阪町、法蓮町、法華寺町にまたがる約 20 haの里山林地（県有林）

◆ 集合：現地ベースキャンプ地・午前9時

◆ 終了予定：午後3時

◆ アクセス

① JR平城山駅下車：東口から南へ徒歩 10分

② 近鉄奈良駅：バス13番乗り場 115系統
8：28発、高の原行き（平日）

③ 近鉄高の原駅：バス1番乗り場 115系統
8：36発 JR奈良駅西口行き（平日）

②③とも「佐保台西口」又は「平城大橋」下車
徒歩7分

◆ 携行品など：弁当、飲み物、軍手（作業用具は現地で用意）



◆ 環境保護のため、お椀、箸、コップなどは各自ご持参下さい。



◆ 連絡先：八木 順一

里山 Gr

2/4 一斉山の日（部分皆伐地の整理）

（注）一斉作業は、苗床作りを予定
チェーンソーによる伐倒訓練
薪割り、薪玉玉伐り・集積

11

林野庁交付金事業の最終チェック
薪割り、薪玉玉伐り・集積
コナラ管理台帳の整備（実態と帳簿の確認）

18

GGイベント準備（椎茸植菌、コナラ植樹）
薪割り、薪玉玉伐り・集積

25

GGイベント準備（最終チェック）
薪割り、薪玉玉伐り・集積
コナラ管理台帳の整備（実態と帳簿の確認）

エコファーム Gr

2/4 一斉山の日（部分皆伐地の整理）

冬野菜など収穫・野菜畑整備 耕耘

11

野菜畑整備 耕耘・ボカシ肥料作り
水路整備

18

苗床ビニールハウス補修・水路整備
U字溝設置

25

苗床ビニールハウス補修（予備日）
U字溝設置

景観 Gr

2/4 一斉山の日（部分皆伐地の整理）

第五地区雑草防止シート準備・池の整備
山野草園の整備と寒肥やり
観察路の丸太階段補修用杭作り

11

第五地区雑草防止シート被せ作業
ならやま池水生生物調査、池の整備
アジサイ園草引きと寒肥やり
観察路の安全パトロール

18

第五地区全般草刈清掃・池の整備
花菖蒲園・黄菖蒲園草引きと寒肥やり
観察路の道標案内板等の補修交換

25

B・C周辺の草刈清掃&整備
ならやま池水生生物調査
柵作りと名札立て
観察記録のまとめ



行事案内

歴史文化クラブ2月の行事ご案内 筋違道を歩こう

歴史文化クラブは2月のオプション行事として、聖徳太子所縁の「筋違道：太子道」（今回は、黒田から斑鳩の間）を歩きます。

筋違道は「下ツ道」と同格の官道（当時の1級国道）で、幅が約20mもありました。

途中の中窪田・杵築神社でお祓いを受けて、ならやまの安全とお天気を祈願する予定です。

歴史文化クラブ会員以外の皆様も是非ご参加下さい。

《実施要領》

*日時：2月16日（火）（雨天決行）

*集合：近鉄田原本線・黒田駅 9：20

近鉄・西大寺 8：38発急行

田原本 8：54着（田原本で乗り換え）

田原本線・西田原本 9：11発

田原本線・黒田 9：14着

（お弁当、飲み物、雨具、防寒具をご用意下さい）

*コース（歩行距離：約9km）

黒田駅⇒太子道を歩き⇒JR法隆寺駅

*主な史跡など

孝霊神社、法楽寺：孝霊天皇・黒田庵戸宮跡

黒田大塚古墳：70mの前方後円墳



糸井神社：養蚕の神様・油掛地蔵：油で真つ黒

杵築神社：4箇所を巡る・飽波神社：安堵

の総鎮守 5社（祭神は素戔鳴尊）（なもて祭りなどの絵馬）上官遺跡：飽波葦垣宮の伝承地

（聖徳太子が晩年を過ごした）

（担当世話人：森英雄、富井忠雄、坂東久平）

GGプロジェクト：しいたけイベント

今年最初のGGイベント、しいたけイベントを昨年同様「植えよう（クヌギ・しいたけ）！作ろう（バウムクーヘン）！」として下記要領にて実施致します。



1. 日時：平成28年2月27日(土)10:00～15:00
（雨天の場合3月5日(土)に順延致します。）

2. 場所：ならやまベースキャンプ

3. 内容：（午前）しいたけ作り（木槌作り、こま菌植え込み）

（昼食）ならやま名物の豚汁提供

（午後）クヌギ植樹・バウムクーヘン作り

4. 募集人員：小学生及びその保護者合計60名

5. 申込み：1月25日(月)から「奈良・人と自然の会」ホームページに掲載しております。

申込み受付は2月1日(月)から2月14日(金)です。

毎回ご好評を頂いているイベントですので、多くの参加者が予想されます。就きましては、スタッフとして、40名の会員の皆様の参加をお願いしたいと思います。既に県並びに市のご後援のもと、パンフレットを各公民館にも配布頂いております。

里山グループでは植樹用のクヌギの苗も着々と準備を進めています。

新春初出式で配布の有ったイベントキャップの初舞台でも御座います。皆様こそってご参加下さい。ご協力の程、宜しくお願い致します。

（平田範光）

3月ならやま活動&行事予告

***ならやま活動**

3月 3日 一斉山の日

3月24日 新入会員歓迎会

***自然教室**

3月14日(月) 自然観察会

場所：馬見丘陵公園

集合：公園館前10時

***月例研修会(歴文共催)**

3月29日(火)

場所：桜井南部の歴史街道を歩く

集合：JR 桜井駅改札口前 10時10分

★詳細は3月号に掲載します。



仲間入りしました

はじめまして、生駒在住の遠田龍美63歳です。畑仲間の吉川さんに誘われ、皆さんいきいきと作業されているのを見てすぐに入会致しました。2回目参加した時に皆さんの前で自己紹介しました。世話役の方から話が長いと言われました。私の性格では、人前では上がるし、話が苦手です。

妻はベテネット病友の会 会長で、夫の私が、事務と会計をやらされています。いや、進んでやっています。

趣味は 温泉、畑、ハイキング、クラシックギター、サイクリング、スイミング、水彩画、美しい女性と一緒に写真に納まること。

クラシックギターは習いだして5年になります。サイクリングも1年目です。昨年3月に琵琶湖1周、4月に、淡路島1周、10月にしまなみ海道から今治、宇多津、徳島、和歌山、自宅5泊6日760km走破。

性格は、人見知り、恥ずかしがり、無口、人前で話せない、存在感がなく、この性格を直したいと常々心がけています。

ここでは、一番若手ですので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

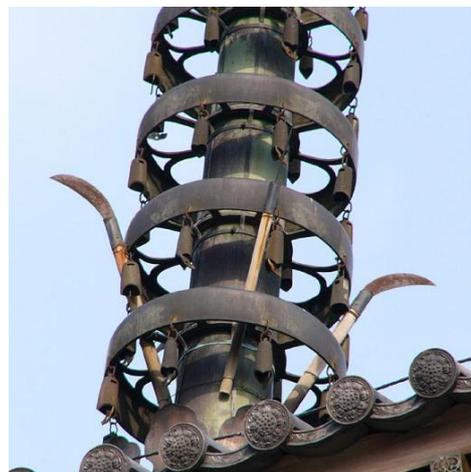
奈良学クイズ

奈良県内のある寺院の五重塔に

は、写真のような4本の大きな鎌があります。

【問1】 このお寺の名前をお答えください。

【問2】 この大きな鎌を奉納した鍛錬所の所在地について、市の名称をお答えください。



【締切】 2月3日(水)

【応募方法】 (鈴木)

【景品】 旬菜or 自然木作品 etc

【1月号答え】

- (1) 春日若宮おん祭
- (2) ②→①→⑦→⑥→③→⑤→④
- (3) 24時間



霜が降り「水菜」が最も美味しい季節です。今人気の簡単レシピ・ベスト10をご紹介します。

是非、検索して男性の方もチャレンジを!!!

- ① 水菜ともやしのゴマサラダ
- ② 水菜とツナの簡単ガーリックマヨサラダ
- ③ 水菜のマヨガーリック炒め
- ④ レンジで簡単★水菜のおひたし
- ⑤ 油揚げと水菜の煮浸し
- ⑥ レンジで簡単! 水菜のシャキシャキ胡麻和え
- ⑦ 水菜と鶏ササミの胡麻だれ和え
- ⑧ みず菜☆かつお節の梅肉和え
- ⑨ 簡単☆豆腐と水菜のサラダ
- ⑩ 水菜と厚揚げのやさし煮

平成28年・1月度幹事会報告

日時:平成28年1月5日(火)17時~19時20分

場所:奈良市はぐくみセンター1階会議室

出席者:幹事20名、顧問1名(欠席1名)

議事:

I. 会長挨拶

今年15周年を迎えるに当たり、①記念事業として冠行事实施。②活動の指針検討。③会の活動がより良くなる様幅広く意見集約を行う。④今年、役員改選の年、会運営に積極的に参画願います。

II. 当面決定すべき事項等

1. ならやまプロジェクト関係:ならやま委員長より(各グループ間交流や他グループ活動参加啓発)
2. 月例研修会予告:2月23日(火)探鳥会実施。
3. 自然教室:3月14日(月)自然観察会実施予定。
4. 当月のスケジュールの検討と確認(課題)
 - ・佐保自然の森の倒木・センダンの木の伐採処理
 - ・ならやま里山林・A地区ナンキンハゼ対応検討
5. 3ヶ月スケジュール
 - ・2月27日(土)GGプロジェクトについて確認
6. 新春講演会についての確認
7. 広報関係:ネイチャーなら2月号編集内容確認

III. 平成28年度活動計画並びに予算関係

- ・2月度幹事会にて再確認。
- 1. 歴文研修会:来年度年間計画説明。
- 2. 月例研修会:来年度年間計画説明。
- 3. その他

IV. 報告・その他確認事項

1. 会員動向並びに報告事項:1名増、150名。
 2. 会計報告:会計より資料説明
 3. 進路ガイダンス:1月24日(日)実施予定。
 4. ならやま里山林整備と経団連部分皆伐作業説明
 5. 企画会議:三本柱(年譜・周年行事期間28/9~29/8・記念講演会)、活動の指針検討中。
 6. その他:備品調査結果報告。イベントキャップ貸与、各自で自己管理の事。
- 次回幹事会は2月2日(火)午後5時、佐保川地域ふれあい会館にて開催予定。

以上

◆ 申し合わせ ◆

- ※ ならやまでのプロジェクト活動やイベントは、前日午後7時前のNHKTV天気予報で奈良県北部の降水確率が午前60%以上の場合は、中止になります。
- ※ 通常活動日【木曜日】が、雨天等により中止になった場合、翌日【金曜日】を臨時活動日とします。



◆ 梅の開花

奈良市の観測史上最も早く、梅の開花が報告されました。

(平年より1ヶ月以上早く、12月27日に、奈良公園の標準木に6輪が咲きました。平年は2月5日で、これまでで最も早い開花は1992年の1月9日。昨季は2月11日だった。) 暖冬の影響で色々と問題が発生しそうです。雪不足や野菜の価格暴落など、寒さで死滅するはずの害虫なども生き残ったら大変です。

ならやまでは、野菜も沢山取れて、活動日も寒さに悩ませられる事はありません。

元旦に薬師寺に初詣をしました。写経道場の前の梅林で、もしかして花が咲いてはいないかとしきりに探すと、1輪の梅を発見しました。

早咲きの梅見つけたりオーオーオー

(行々子)

会報誌【ネイチャーなら】・第169号

発行:奈良・人と自然の会

会長 藤田 秀 憲

<http://www.naranature.com>



編集チーム代表:坂東久平